

2007年10月15日

株式会社 三越 2007年9月上報告

1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	-5.9
日本橋	-8.6
新宿アルコト	-3.4
銀座	-14.6
池袋	-3.7
千葉	-6.4
仙台	4.0
札幌	-6.7
名古屋栄(ラシック含)	-3.8
名古屋星ヶ丘	2.5
新潟	-9.8
広島	-5.2
高松	6.0
松山	-7.0
福岡	1.3
鹿児島	-3.3

2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		-5.9
衣料品	紳士服・洋品	-10.3
	婦人服・洋品	-7.3
	子供服・洋品	-7.9
	その他衣料品	-0.2
衣料品小計		-7.2
身の回り品		1.0
家庭用品	家具	-53.4
	電器	-5.9
	その他家庭用品	-2.4
家庭用品小計		-24.7
食料品		0.0
食堂・喫茶		-0.5
雑貨		-8.5
サービス		7.2
その他		1.2

3. 店頭・事業部門別売上高

(金額単位:千円 前年比:%)

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比	売上高	前年比
月計	41,154,924	-5.6	8,691,310	-7.2
累計	41,154,924	-5.6	8,691,310	-7.2

4. 来店客数

	前年比 (%)
全店	5.1

5. 商況概況

<9月商況>

- ・ 月前半の台風や連日30度を越えるような残暑の影響で、ファッション部門を中心に苦戦。婦人衣料や紳士衣料では一部晩夏商材の動きがあったが、実需期である秋物の動きが鈍く、全体を押し下げた。一方、宝飾品や特選ブランドなどの高額品の動きは引き続き堅調に推移した。全店店頭合計の売上前年比は-5.9%。仙台、高松、星ヶ丘、福岡の4店舗が前年を上回った。
- ・ 日本橋本店は、高額品は堅調だった他、8月にオープンした「シェフ & スパ シャリティ ダイニング」を中心に食品部門は好調に推移したが、秋物衣料が苦戦したことが大きく響き売上前年比は-8.6%。
- ・ 銀座店は、晩夏商材に動きが見られる一方、残暑の影響で婦人衣料を中心に秋物商材が伸び悩んだことに加え、一部ブランドの契約終了による売上減が響き、売上前年比は-14.6%となった。
- ・ 名古屋栄店は、核催事の「ワールドウォッチフェア」が査定を達成するなど、高額品は引き続き堅調だったが残暑により、紳士・婦人とも衣料品が苦戦し、売上前年比は-3.8%となった。

<その他>

- ・ 10月16日(火)より、首都圏の各店店頭で「おせち料理」ご予約受付開始。10月30日(火)には日本橋本店他を皮切りに各店で「お歳暮ギフトセンター」がオープンするなど下期歳時記の商戦がスタート。10月16日(火)には日本橋本店にてギフトカタログのお届けを開始するのに合わせ、「お歳暮出陣式」を実施する。
- ・ 9月16日より、「中国銀聯カード」の受け入れを主要5店舗に拡大したことに合わせ、クーポン券を使用したキャンペーンを10月1日より開始。今後も訪日外国人の利便性を高めていく。

(参考) 2006年10月からの売上前年比推移(全店計)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全店計	-4.9	-2.0	-4.5	-1.0	-3.8	-3.8	-5.2	-2.7	5.0	-5.0	0.3	-5.9

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越 コーポレート推進室 広報担当 03-3274-8007 FAX03-3241-5298